

- 一、釘、針金、燈用石油等の配給については地方の實情を嚴に調査した上でそれに即した配給をして貰ひたい。
- 一、掛合村（飯石郡）の様な交通機關にあまり恵まれない地方へは自動車のガソリンを特別に多く配給してくれ。
- 一、中小商工業關係の轉失業者に對しては一層適切な對策を樹て、貰ひたい。
- 一、團體統合を促進して欲しい。
- 一、早く女子國民服を創つて貰ひたい。
- 一、恩給制度の再検討を行へ、又恩給をもらつて遊んでゐる者は強制的に集めて勤勞増産作業に従事させたらよい。
- 一、製炭業者へ補助するには新舊によつて區別せず生産高に依つて補助して貰ひたい。

三、岡山縣民の聲

- 一、縣民全體が眞に日本精神に目醒めて欲しい。これには種々の方法があらうが中央より立派な講師を派遣して指導を願ひたい。
 - 一、翼賛精神の普及徹底を圖る一方法として、活動寫眞を利用することが有効であると思ふから地方から申請したときは本部はどしどし映畫班を派遣して貰ひたい。
 - 一、軍事、外交、産業、國民生活等の實情を支部理事や協力會議員によく知らせて貰ひたい。
 - 一、米價及び小麥の價格の適正引上げをして欲しい。
 - 一、米の増産には農民魂をつくと同時に獎勵金をも増額して貰ひたい。
- 増産問題は色々の角度、方面から考へられるが要は農民の心構を新體制にす

ることだ。明治初年頃まで、農民は仔々營々として働いたが、其の後指導方法を誤つたがために、農民魂が失はれて働く事に熱が入らなくなつた。食料確保の上から責任のある農民対策が必要だ。それには農民の精神指導と共に物質的援助をも忽せにしてはならぬ。

一、農村勞力を確保する手段としては賃金の引上を行ふ事が一番効果的である。米を作れ／＼と言ふが農民だつて經濟生活をしてゐる以上賃金の高い方へ流れて行くのは當然の事と思ふ。どうか町村長はこの事に骨を折つて貰ひたい。

一、農村に科學的知識を普及させよ。

それには農業方面の權威者や、先覺者の指導を受けさせると共に、展覽會とか紙芝居の様なものを連続的にやれば必ず効果があがると思ふ。

一、米の増産に理届はよせ、例へば内原道場を出た訓練生等を中心として、實

行部隊を組織し、田の草取や施肥の事を實地に指導し、今迄五俵しかとれなかつた田圃から八俵もとれる様にして貰ひたい。

一、從來の米の品種は多過ぎる。收穫の多い品種を採用したらどうか、質よりも量に重點をおくべきだと思ふ。

又自作農は小作農よりも力の入れ工合が違ふ。今少し自作農を多くして貰ひたい。

一、この縣下には空閑地がまだ澤山遊んでゐるから、隣組や實行組合で申合せて是を共同的に利用したらどうか。又米の増産には特に優れた人だけを指導するよりも下手な者に呼びかける方がよい。

今年九〇俵作つた者には來年は百俵作る様に指導し、一俵増産した時は五圓二俵は一二圓と言つたやうに累進的に獎勵金を交附する様にすれば増産はわけなく出来る。

- 一、早害の恒久対策を樹てよ。
- 一、穀物検査制度を改めて、もつと簡易化して貰ひたい。増産の念願するところは多收穫であるから質的に重點を置かぬ様にしたらどうか。
- 近頃屑米を家畜の飼料に充てる傾向があるが、之を昇格して食料とすることにしてはどうか。検査には重量制を實施し、單一検査に改め、等級を甲、乙の二種に止めたらよいと思ふ。
- 一、耕地の障害となる附近の樹木は伐栽するがよい。
- 我が吉備郡（岡山縣）に於ては町村及農會等の申合せにより之を勵行してゐる。
- 一、昨今は農村に嫁に来る者がない。農村に進んで嫁するやうに女子を教育するため女子農民道場を設けて貰ひたい。

- 一、肥料の配給機構は是非改正してくれ。
- 一、婦人團體は一日も早く統合して欲しい。
- 一、釘、針金等の適正配給をしてくれ。

四、廣島縣民の聲

一、廣島縣民は増産と節米について要望するところが特に多かつたので、その中重要だと思はれるものを左に掲げよう。

○増産について、

- 1 吾々百姓は増産には懸命に働いてゐる積りだ。政府の方でも米の値段を吊上げるなり、氣張つて奨励金を出すなりして貰ひたい。
- 2 農業勞賃に比べて工業勞賃がいやに高いので農村勞力は日一日と減つて

行く現状にある。當局は善處してくれ。

3 肥料及び病蟲驅除の藥品を速く充分に配給して欲しい。

4 吾々百姓は米麥以外の農産物を作る事が有利な場合でもお國のためだと思つて米や麥を作つてゐるわけだ。

一例を挙げれば、

麥作よりも除蟲菊を作る方が金が儲かるが、やはり麥を作つてゐる。

5 米一石當り十圓の米作獎勵金を政府から出す様に輿論を喚起してはどうか。

6 このやうに増産節米の叫ばれる時代に不在地主は何を考へてゐるか、よろしく自覺して自作農になつて貰ひたい。

7 木炭の價格が上つたため従來の副業が本業となつて農耕勞力を吸収する事が甚だしい。

8 農家が統制に煩はされて萎れ、増産の障害となつてゐる。之を精神的に指導して貰ひたい。

又諸々の検査は簡易化して欲しい。

9 政府は農産物の補助獎勵金を交付する場合に時期方法を考へて貰ひたく交付には賽銭的補助は止めて重點主義を採用して欲しい。

10 農地管理法の通牒期日が非常に遅い。そのため蓮根其他野菜の採種をしたものがある。之をやりかへるのは困難だ。凡て通牒は速かに願ひたい。

11 肥料の値段を下げてください。

○節米について、

1 精米の際麥を混ぜて渡せば節米が公平になるではないか。

2 節米にも増産にも精神的指導が眞先である。又節米と栄養料理について婦人が充分に知り盡すやうに指導を願ひたい。こゝ言ふ事は男よりも女に

知つて貰はねばならぬ。

3 米と麥との値段に開きがないため、麥の混食が不充分である。

4 米を一般的に切符制として欲しい。

5 國民學校兒童を通じての節米運動の効果は非常に大きい。

一、國體明徴運動をもつと強化せよ。

吾々日本帝國臣民は我が國體の根基を充分に悟り、これを腹の中になんて
共產主義、民主主義、自由主義及び個人主義等の毒素をおつばらをうではな
いか。

一、婦人と戸主に對し大政翼賛運動の訓練を徹底されたい。

一、配給地下足袋のモンスウが小さ過ぎて實用にならぬ。

一、翼賛運動は一文も國費に依存するな、吾々の淨財でやらう。

五、山口縣民の聲

一、「一年の計は元旦に在り、一日の計は朝に在り」と古人も言つた様に、吾々の個人生活にすら一日、一月、一年を通じて夫々計畫、豫定と言ふものがあるわけだ。

まして日滿南支印を通じた大東亞共榮圈を確立するためには東亞全體を眼中に置いた國土計畫が必要である。

東亞の政治に、文化に、産業に、經濟に、其の他各般の部門に亘りこれをどうするかについて先づ合理的な計畫がたてられ、それによつて日本内地の計畫も定まり同時に地方計畫が決定すると言ふ順序である。

これが出來さへすれば都市計畫はあらか、農山漁村の經營も、東亞の開拓も、勞力調整も着々と片付いて行くと思ふから、政府は早速東亞會議を開き

これを參酌して國土經營の遠大な綜合計畫を樹て、貰ひたい。

一、盡忠報國の日本精神を奮起させよ。

一般國民の時局認識が未だ不徹底で奉公の態度に積極性がないから翼賛講習會、軍事講習會をどしどし開いて日本精神をいやが上にも昂揚させて貰ひたい。

特に我が防長精神昂揚のため「防長精神作興記念日」と言つたやうなものを制定してはどうか。

一、吾々山口縣人は結束して翼賛運動を支持しよう。

義勇奉公の防長精神を振ひ起せばこの運動を強いものにして行く事は何んでもないではないか。

一、農村文化運動を振ひ起せ。これは農山漁村に有爲な人材をつくり、地方民の文化水準を昂める上に非常に役立つと思ふ。

一、大陸に送る花嫁の養成所を縣下適當の地に設置して貰ひたい。

一、警察官をもつと優遇する様な方策を採つて貰へないか。市町村吏員や國民學校教員の待遇も悪いが警察官のそれも決して良いとは言へない。

一、現在の様に農村に人手が不足しても食糧増産には農民は一役も二役も買はなければならぬ。

然しこれは高度戰勝國家を創るのに必要缺く事の出來ぬ事柄であるから一般の消費者はたゞ節米と言ふ消極的な方法に止らず、積極的に手助けして貰ひたい。

そこで町内會や會社工場等では勤勞班をつくつて應召農家に勤勞奉仕をするもよし、荒廢地、休閑地等を耕すもよい。

一、都會の女性にも畑に出て貰つたらどうか。

都市の女子青年團も勤勞移動班を作つて食糧増産のために働いて貰ふがよ

い。それは同時に町の婦人が農業を知り共同労作の眞意義を體得する結果ともなる。

一、部落會、町内會、隣組等は翼賛會の下部組織でなく市町村自治機構に屬すると明言された。

この定義は行政的解釋としては一應納得出来るが、實際上から言ふと行政事務と翼賛事務とを峻別する事は出来ぬと思ふ。

あれに屬す、これに屬すと言はずに要は全國民が心から勇んで翼賛運動に挺身出来るやうな仕組にして貰ひたい。

一、高度國防國家と言ふ聲はやかましいが、若しも敵機が飛んできたら一般大衆はどうすればよいのか。

第七章 四國地方の卷

一、香川縣民の聲

一、香川縣支部は翼賛會の講習終了者に連絡をとつて翼賛運動に出来るだけ參加させて貰ひたい。折角澤山の指導者を練成しても之を活用しなければ何の役にも立たないと思ふ。

一、本部役職員を地方に連續的に派遣して指導連絡に當つて欲しい。

一、不正商人に對する取締を嚴重にせよ。悪質の者には重刑を科したらどうか。

一、肥料配給を的確公平にして欲しい。之がも國にとつて極く重大問題である

ことを役人諸君は充分に知つて貰ひたい。

一、翼賛會は會社、工場方面を積極的に指導して欲しい。この事が經濟新體制の基礎になると思ふ。

一、翼賛會が精動に墮落する事は絶対に反對である。

一、翼賛會は取急ぎ具體的實質的仕事をする必要がある、然るに翼賛會の第一聲が厨芥處分と言ふのでは恥かしくて縣民に呼びかけられない。もつと頭の
良い考へは浮ばないものか。

一、四國四縣の役人會議の席上、某氏は次のやうに語つた。

「縣當局としては純眞な地方民を迷はず様な中央の雜音は縣民に聞かせたくない。又翼賛會が精動化すれば吾々はこのまゝこの縣に居られない。吾々は
辭表を抱いて仕事をしてゐる。」

又某氏は、

「吾々は政府翼賛會が表裏一體となつて昨冬來本職を投げ出して翼賛會の仕事ばかりしてゐる」と。

一、香川縣下の言論機關は翼賛運動絶對支持で、「何時何でも命じてくれ」と言つてゐる。

一、第七十六議會に於ける總裁の答辯は實に弱腰である。あれでは國民がついて行かぬ。今の國民の氣持は伊達や浮調子ではない。本部よもつと強くしつかりしてくれ。

一、第七十六議會での翼賛運動に關する論議は國民をして本運動に對する認識を誤らせ翼賛運動の前途を不安にしてゐる。本部の之に對する方策は何か。

一、役員、推進員等の指導、訓練を徹底的且大仕掛にやるべきである。良油がなければ機械は廻らない。

一、現在の如く各種の團體を放置するときは團體は個人主義的方向に發展して

行く懸念が大きいから翼賛會はこれを適切に指導統一せよ。

一、翼賛會は健全な娛樂の普及を圖つて欲しい。特に農村方面の普及に努力を願ふ。

一、紙芝居の良いものを配給してくれ。子供に及ぼす感化影響は相當なものだ。

一、榮養食パンフレットを作つてくれ。國民體位の向上もこんなところからだと思ふ。

一、常會を實際に運営するための手頃な指導パンフレットを欲しい。

一、神社や寺院を通じての翼賛運動展開のため神主なり僧侶への新體制教育をして欲しい。この事は是非とも必要だと信ずる。

一、翼賛會中央本部の評判が悪い、實際に悪いと思ふが如何。

一、役員の辭令を早く出せ、地方廳に委せて書かせては如何。

一、講演會其の他の方法で、大衆訓練を徹底的にやつてくれ。

一、行動を開始するためには指令をどしどし出せ。吾々は何でもやる。

一、推進員はその職域に挺身奉公すると同時に、一死を賭して闘ふような別個な任務があると信ずるが如何。推進員は人をぐんぐん引張る力のある人が理想的である。

一、肥料、米、釘等の配給に當局は最善を盡してくれ。

二、高知縣民の聲

一、翼賛會の精動化は絶対に反對である。

一、團體統合は速かに實現せよ。色々の團體が勝手に行動されては縣民のまともりがつかない。

一、米價の適正價格を速かに決定して貰ひたい。百姓ばかり壓迫すると其の結

果は國全體が損をする事を考へねばならぬ。

一、翼賛運動を高知縣下隅々々に至るまで徹底するやう當局は努力して欲しい。

一、推進員を動員して翼賛運動の強化、徹底を計れ、推進隊の行進だ、推進隊の動員だ。

一、地方支部のなすべき翼賛事業を具體的に示せ。

一、地方民は翼賛運動を絶對的に支持するが、本部が弱體化の傾向にあるは遺憾の極みである。大木だつて枯れては支へやうがない。

一、推進員に指導訓練を施せ。名簿上の推進員は烏合の衆に等しい。

一、憲法論に捉はれず翼賛會は高度の政治性を持つて欲しい。

一、議會人に對する政府並に翼賛會の態度が微溫的であるのは遺憾である。

一、翼賛會の實踐要綱は用語が難解にすぎる。もつと簡易にして隣組で使用し

ても充分理解の出来るものが欲しい。

一、市町村に於てもつと啓蒙運動をやつて欲しい。

一、協力會議でとりあげられた問題は可及的に實現して貰ひたい。

一、公定價格の不合理性を一日も早く是正して欲しい、仲々困難ではあらうけれども。

一、市町村の舊體制を打破しようとしても縣當局の方針が邪魔になつて出来ない場合があるので困る。

一、下情上通の場合採用されざる時は其の理由を明示せよ。下情上通が掛聲に終らぬやうに。

一、翼賛運動の狙ひを下まで徹底せしめよ。

地方では翼賛會が何をやるかわかつてゐない、もつと具體的に示すべきである。

- 一、昭和の大轉換期に國民を新方向に引張つて行くには推進員を動員してぐんぐん進むべきである。現在のやり方は本當になまぬるい。
- 一、現在の翼賛會は全く弱腰だ、摩擦を恐れ過ぎる。多少の摩擦は當然の事と思ふ。
- 一、既成政黨人の議會報告演説は大いに警戒すべきである。
- 一、推進員は規律を嚴正に持する事が必要である。其れには道徳的な戒律を設ける事が必要だ。
- 一、青壯年團組織を早急に強化統一して欲しい。
- 一、下級支部長等支部は何を爲すべきかについて全然わかつてゐないものがあるから啓蒙に努めると共に具體的に明示して欲しい。
- 一、縣支部長は特定の人を指名する事が運営上萬事好都合と思ふ。
- 一、翼賛會本部が何だか頼りない氣がする。もつとしつかりして欲しい。

一、翼賛會の役職員に誠意と懇切と人格を要望する。命令を下し放しな官僚的態度にならぬ様にして貰ひたい。

- 一、個人主義、自由主義排撃のため、徹底的對策の樹立を要望す。
- 一、地方の熱の冷却せぬ中に本部ではもつと具體的な運動を展開して欲しい。
- 一、議會人に共鳴せる地方民を指導する具體的方策を早急に樹立せよ。
- 一、下情上通に際し、縣郡支部長の意見が介入し阻害される恐れがある。

三、德島縣民の聲

- 一、米俵、炭俵等の回收法を充分考慮して欲しい。
- 一、節米、増産、肥料の配給等に關し縣當局に於ては全力を注いで貰ひたい。
- 一、吾々德島縣人はこの際縣民性に就て大いに反省しなければならぬ。
- 一、翼賛會中央本部の政治力をもつと強大であつて欲しい。

- 一、本部と支部の連絡をとり密接にせよ。
- 一、各種團體統合を速かに實現して貰ひたい。
- 一、抽象的に臣道實踐を叫ぶより具體的に活動方向を示して欲しい。
- 一、翼賛會縣支部の人事を再検討する必要がある。
- 一、翼賛會の官僚化を極力防止せよ。官僚化すると、する事なす事お役所式になり、其の場限りとなつて本當に力強い運動が出来ない。
- 一、米價の適正價格を決めて貰はねば農民がやり切れない。農民の倒れる事はみんな倒れることになる。
- 一、現状維持勢力は相當大きいからこの制壓方法を考へよ。だが考へただけでは抑へられない、吾々は現實に抑へる事を望む。
- 一、個人主義、自由主義的思想の徹底的排撃を斷行せよ。
- 一、政府當局は滿洲への大量移民計畫を樹立せよ。

- 一、都市消費地の節米を要望する。吾々田舎者はお國のためだと思つて出来るだけ節米してゐるが都會人は必ずしもさうでないと云ふ事をきくが本當か。
- 一、選挙法改正に當り候補者は町内會長が推薦する様にされたい。
- 一、下情上通の場合採用されざるものは、その理由を明示して欲しい。
- 一、都市で遊んでゐる様な連中を總動員法で必要な方面に連れて行く様にされたい。國家の力でやれば出来る筈だ。
- 一、翼賛會中央本部が現在やつてゐる郡單位の協議懇談會は非常にためになるが更に町村單位の懇談會を望む。
- 一、翼賛運動は法律論的に考へるものでなく實踐的なものと思ふ。
- 一、青年は自己の職業の持つ國家的眞意義を認識する様是非指導して貰ひたい。
- 一、翼賛會の講習には今後出来るだけ町村當局から受講出来るやうにして欲しい。

い。
一、常會と農事實行組合を統一されたい。

四、愛媛縣民の聲

一、各種團體の對立抗爭は翼賛運動を阻害するから中央に於ては團體統合を即時斷行せよ、中央さへ統一すれば地方は直ぐまとまるのだ。

一、中央本部がぐらくしてゐては地方民が信賴しなくなるからしつかりして欲しい。

一、自由主義、個人主義に基いた言動はこつびどく排撃せよ。

一、國民組織は一刻も早く強化せよ。

一、翼賛運動を各階層に徹底させるためには凡ゆる方策を考究せよ。

一、翼賛運動の指導者たる者は誠意と氣魄を持つて欲しい。焰の様な誠心を以

て指導して貰ひたい。

一、官界新體制は國民の熱望するところであるから可及的に造つて欲しい。

一、違憲論とか、法理論に捉はれず、國民は翼賛運動に邁進せよ。

一、此の超非常時に際し經濟新體制の出來なかつた根源は何處にあつたか、一部の財閥にあつたのか、國民に知らせて貰ひ度い。

一、米の適正價格は地方民殊に農民に取つて重大關心事であるから當局は善處して貰ひたい。

一、全國的に空閑地利用の合理化を計れ、本縣等殊に南伊豫地方は山全體を開墾して段々畑になつてゐる。

一、國民學校の教科書中には節米、増産に關する教材を出来る丈け多く取入れて欲しい。

一、肥料の配給を圓滑公平にすべし。

- 一、翼賛會に反對する議會人は斷然排撃すべきである。
- 一、翼賛會中央本部はどうも軟弱で官僚化してゐると言ふ聲が高い。
- 一、愛媛縣下には甘藷を常食としてゐる地方さへある。これを思へば節米は容易に出来る筈である。
- 一、米俵、炭俵等の回収運動を合理的に行つて欲しい。
- 一、大政翼賛會を會員組織とし、各々の會員をしてこの翼賛運動は眞に吾々のものであると言ふ強い意識を持たせ、之を中心として次第に發展させて行く様にした。

第八章 九州地方の卷

一、福岡縣民の聲

- 一、ビール壘に水が入つてゐても一應ビールが入つてゐる様には見える。今迄の政治團體が思想團體の様にカモフラージュして盛に勢力擴張をはかつて居り、其の中心人物の中には翼賛會の関係者がないとも言へない。これは地方民に悪い影響を與へてゐるから何とか前後策を講じて貰ひたい。
- 一、大政翼賛會の豫算が削られたので本縣等では議會人に對する信頼が地に落ちたかの感がある。翼賛運動は吾々國民自身の運動であるから一戸當り十錢でも二十錢でも徴集して欲しい。又寄附金を受入れて貰ひたいと言つて申出

る者もある。

一、大衆は本部が強力となつて力強くぐんぐん引張るのを常に期待してゐる。そこで本部は國民に勇敢な號令を下して眞一文字に驀進すべきではないか。推進員の俺達は、精一杯働くつもりだ。

一、一般國民又は地方支部に對しては一部でも多く翼賛會報又は其の他の冊子を配布して欲しい。

一、翼賛會に關係した代議士の質疑に對し政府の答辯の生ぬるいのは、代議士の言論が地方民を代表してゐると信じてゐるためではないか。さうだとすれば認識不足も甚だしいと思ふがどうか。

一、議會に於ける某氏の翼賛會に對する態度は實に遺憾である。斯る者を逮捕せず見逃してをいてよいのか。

一、會社、工場其の他職場に於ても青壯年間にあつてはこの翼賛運動に本當に

眞剣な動きを見せてゐる。

特に青壯年層はすでに何々研究會又は何々推進隊と銘を打つて吾々と連絡をとつて運動を始めてゐる。

一、推進員は一ヶ町村五名とするよりも部落一名宛とした方が實際的である。

又その活動目標を具體的に示して重點主義で行つた方がよいと思ふ。尙推進員には強い政治力を與へて欲しい。

一、吾々は日本民族と共に生き日本の國と生死を共にしよう。

自分達が金を儲け慾望が満足されば國も民族も眼中にないと言ふ様な考は一切たゞき毀さねばならぬ。

一、翼賛會は斷乎やるんだと勇敢に意志表示をして欲しい。

中央は實に弱腰だ。この分ならば地方は地方でどしどし進めてやらねばならぬと思ふ。

一、時代の流れにはかなはない。吾々商人も轉業を餘儀なくされねばならぬ。今後どんな職業につかうと、産業戦士としてお國のためにうんと盡す覺悟だ。

一、米の安いのと肥料の足りないには全く閉口する。當局は一つ何とか最善の方策を採つてくれないか。

一、今世界は戰國時代であるから、縣民の國防訓練をもつともつとやつて欲しい。

一、これまでの大學、専門學校教育は自由主義、個人主義の上に立つた歐米依存の教育だ、國民學校制の施かれたのを機會に上級學校の教育方針をも改善して貰ひたい。

二、大分縣民の聲

一、我々國民が心の底から國策に協力するためには内外の實情をよく知つておく必要があるから出来るだけ詳しく知らせて貰ひたい。又國民の要望は早く實現して欲しい。大分縣ではこれまで、縣、郡、市、町、村、部落、隣保班の間に一貫した常會があつて下情上通、上意下達がうまく行はれてきた。が惜しいことには從來、縣と中央との連絡がとぎれがちであつたから今後は中央の人も縣に來て連絡をとつて貰ひたい。

一、吾々は政翼賛運動を絶対に支持する。本部は弱腰にならずにぐんぐん思ひ切つてやつて貰ひたい。

一、肥料がなければ米、麥の増産は仲々むづかしい。肥料の配給機構をもつとうまく造つてくれ。

一、大分縣下にも個人主義、自由主義思想を持つてゐる人が多いからこの人達の啓蒙をして貰ひたい。

道場式の訓練所を創つて思想教育をしたらどうか。

一、牛馬の飼料を今少し増配して貰ひたい。又保管米を産地の産業組合作業場で七分搗とし、それから出る糠を牛馬の飼料として地元にかへしてくれ。牛や馬に食はせるものがなくて本當に困つてゐる。

一、狩獵期間を一年中にしては貰へないか、と言ふのはこの南海部郡(大分縣)では猪が田畑を荒らして其の被害は非常に大きい。これでは吾々農民は増産の熱意を失つてしまふ。

一、食料の配給について次の様な事をお願いする。

- 1 砂糖は黄又は黒砂糖がよい。
 - 2 葬儀用の砂糖は量を増して貰ひたい。
 - 3 小麦及び小麦粉は代用食として非常によいから増配して欲しい。
- 一、佛教の各宗派を合同して貰へないか。

三、佐賀縣民の聲

一、みんなが日本精神にならなければ新體制運動は出来ない。

先づ精神新體制の確立が必要である。それには唯物、個人、享樂主義の三毒素をとり去つて、敬神尊皇、獻身奉公、一億一心の三大スローガンをかゝげて縣民に呼びかける必要がある。

一、縣民に時局の真相を知つて貰ふには、講演會やラヂオ等もよいが一般の人には耳よりも眼と言ふ建前から、縣下の各國民學校で活動映寫會を開き、第一次歐洲大戰の敗戦國の慘めな有様や其の復興振り等を見せて民心を緊張させるやうにして欲しい。

一、他の縣にも例はあらうと思ふが、この佐賀縣等に於ても翼賛會縣支部と縣會とがどうも對立氣分にある。そこで兩者の間をうまくやるには縣支部理事

と之と同数位の議會議員の代表との懇談の機会を造つて互に協調するやうにしてはどうか。

一、代議士や縣會議員は議會が終つてからもつと活動して貰ひたい。もつと地方民の聲を聞き、關係者と大いに懇談をして縣政の振興や時局の認識を徹底させることに力を盡して貰ひたい。

一、地方民には翼賛運動の眞意がはつきりわかつてゐないから、縣支部は縣内の巡回指導をして欲しい。もし人手が不足なら新たに強い指導機關を創つてくれないものか。

一、農民が晩酌にやる一杯の酒は藥に等しい。けれども農村では此の酒が殆んど手に入らない。一方料理屋、飲食店には可成り澤山廻つてゐるやうだ。これは小賣業者には卸賣價格で賣るが、飲食店、料理屋には小賣値段で賣つてゐるせいではあるまいか。

農村には優先的に酒を配給すると言ふ聲もあつたが事實は全く反對である。酒も切符制にしてはどうか、農村にも今少し酒が廻る様に縣當局と相談してもらひたい。

一、人手がなくては百姓は出來ない。

農村勞力の不足は、農村勞働者の賃金が、工場、鑛山のそれに較べて安すぎるからである。勞力不足は食糧増産上にも由々しい問題であるから日傭賃金を公定するか或は少くともこの跛行状態を緩和して貰ひたい。

一、糠が蔭をひそめたので牛馬飼料が不足してきた。

佐賀縣でとれる米の縣外移出は從來その七、八割までは白米であつた。が今日では玄米で出してゐる。それだから糠がちつとも残らない。

一、翼賛會は官界新體制と經濟新體制を創ることにねばり強く骨を折つて貰ひたい。

一、世戦は今動亂の状態にある、若しも敵の飛行機がわれ／＼の頭の上に飛んで來たらどうする。避難所がすぐ必要になるではないか、今少し國民に塹壕を掘ることを訓練したらどうか。又出來るだけ多くの建物をカムフラージュする必要があると思ふ。

一、漁業用の石油が足りなくて仕方がないから業者を糾合して合理的な漁業組織を造る必要がある。

沖で漁をした船が一隻々々港に歸つて魚を陸揚げする様では石油がいつてたまらない。數隻分の魚を一隻の大きな船で運ぶか、沖で加工、製造するだけの設備が大切だ。

一、米麥の値上げは農家のためには不利益の場合が多い。之によつて利益を受ける者は中産以上の地主だけで小農其他の小作人は利益は受けない。だから奨励金を出すにも全農家に行渡るやうにしてくれないか。この西松浦郡あた

りの農村で米百俵以上を出す農家は極く僅かである

又増産奨励策として奨励金を出す外に精神的に指導をやつて貰ひたい。

四、長崎縣民の聲

一、此の超非常時局に當つて長崎縣民は奮起してゐるが、時局問題についてよく知らない者が多いから強力な組織を造らうとしても仲々出來にくい。この點についてはとくと御一考を願ふ。

一、議會方面の壓力があつても翼賛會本部はしつかりしてくれ。

吾々縣民は團結してこの運動を應援するから。

一、支部役員の中には、翼賛會の組織運営を知らず萬民翼賛の理念を全く知らない者と政黨の色合の強いものがあるがまことに遺憾である。本部で役員を選ぶ場合にはよく注意して貰ひたい。

一、壯年層の組織をどうするつもりか、本部は一日も早く具體策を樹て、く
れ。

一、講習會によつて指導者を練成したら、本運動に出来る限り活用して欲しい。現在本縣等では講習生は講習生として獨自に活動してゐる状態である。

一、私達女も推進員として加へて貰ひたい。

一、郡町村部落常會等の實際の運営の状況を集め、郡内の町村常會に參考として配布して貰ひたい。

一、翼賛會は會員組織として會費を徴集したらどうか。人の心理は面白いもので例へ僅かでも會費を支拂へば吾々の運動であると言ふ感を一層強くする。

一、我國にとつて農業の眞に大切となつた今日、農民を積極的に指導するには本部に農民道場を樹て、貰ひたい。

一、兵農兩全の建前から農家に家族手当を支給して欲しい。さもないれば貧農

は百姓をやめてしまふ恐れがある。

一、農民が離村するので農村勞力は日々減つて行く現状である、農村に對する物心兩面の優遇と指導とをして貰ひたい。

一、この西彼杵郡の地方では二ヶ年に續く旱害のため田地が非常に荒廢してゐるから、農地委員會を創つて前後策を講じて欲しい。

一、米價を他の物價並にし、又牛價の最高價格を公定して貰ひたい。

牛價について言へば供出牛の價格と地方價格との間に非常にへだたりがあるからだ。併せて牛馬商の取締を嚴重にして欲しい。

一、吾々農民は米麥増産に向つて大いに精勵する覺悟である。だが農産物があまり安すぎるから奨勵金を出して貰ひたいがどうか。

一、ウニ、カマボコ等の水産物の價格は品種別と季節別に公定して欲しい。

一、就寢後には必ず電燈を消して、お國のために電力を節約するやう勵行しよ

うではないか。

一、吾々農民は農産物を包装する俵やカマス等作るのに相當の困難を感じてゐる。だから古俵や古ガマスは農民の手に戻つて来るやうな方法を考へて貰ひたい。

一、翼賛會は對馬島民性の改善向上の具體案を樹てゝくれ。

五、熊本縣民の聲

一、翼賛運動を官僚化すると國民は支持しなくなると思ふ。

一、縣協力會議の成果は縣常會報に載せて縣民に知らせて貰ひたい。

一、縣支部は常會の指導者をつくるために短期講習會をひらいてくれ。常會によい指導者がゐるところは非常にうまく行つてゐる様だ。

一、翼賛會本部は推進員の地位とその具體的な仕事を明示して欲しい。

一、地方小都市に住む中小商工業者の轉失業對策は土地の實情に沿つた様に樹てゝ貰ひたい。

一、最近町役場の事務が激増したので吏員をぐつと増して貰ひたいが町村には豫算がなく、國庫補助に俟つてゐるわけだ。だがこれも小額であるため優良吏員を採用する事が出来かねる現状である。どうか國庫補助金を増額して欲しい。又補助金の運用は町村長に一任してくれ。

一、我國の農業經營を科學的にするためには農村兒童や青壯年層に科學教育をしなければならぬ。それには國民學校の農業教育を強化すると共に常に講習會を開き又田畑に行つて實地に科學的指導をして貰ひたい。

一、食糧問題は今後とも極めて重大な問題であるから今の中に根本對策を樹てゝくれ。それには次の諸點に注意を拂つて欲しい。

1 農民精神を振ひ興す。

- 2 勞力對策を樹て肥料資材の配給方法を再考する。
 - 3 農業技術員を養成する。
 - 4 早害防止策を樹て堆肥小屋を建設する。
 - 5 節米敬米を勵行する。
- 一、熊本縣下十數郡に於ては米價及獎勵金について次の様な切なる要望がある。
- 米價が他の生産物に較べて安いから生産者が米を作るのをやめて米作以外の生産に走る傾向がある。又米價と雜穀の値段が似通つてゐるから節米の徹底を缺く結果となる。此の際米價を他の物價並にするか若くは生産獎勵金を交付するかすれば米の増産が出来るし節米の實績は擧がると思ふ。
- 一、肥料を配給するときには、各町村の土質調査に基いて適正に配給して貰ひたい。

- 一、最近は何れを去る農民が非常に殖えたので農業經營が困難になつた。農業に必要な人口だけは常に確保出来る様當局に於ては根本方針を樹て、くれ
- 一、國民生活の安定を保つため農民については世襲農地制度のやうなものを考へて貰ひたい。
- 一、翼賛會は推進員を大動員してこの運動をぐんぐんおし進めて貰ひたい。
- 一、興亞奉公日はこれまで休憩日の様な觀があつた。今度は増産と勤勞と言ふことになつたが、餘程思ひ切つてやらないと休憩日の域を脱けさらないと思ふがどうか。

六、宮崎縣民の聲

- 一、食糧増産は現在我國にとつてぜひとも必要である。當局は萬遺憾のない計畫を樹てよ

- 一、米麥等主要食の配給統制は特に考慮して欲しい。
 - 一、宮崎縣下に於ける飯米の確保をするためには一層節米運動を強化せよ。
 - 一、縣下の區會、隣保班は漸く整備されてきたが常會運営については改善の餘地がある。この具體策を示せ。
- 尙官公吏や教職員は指導的立場にある人達だから常會には出来るだけ出席して貰ひたい。

一、農村に必要な害蟲驅除用石油とか、漁村に必要な漁業用礦油類の配給等について見るに賣惜み、逸脱又は時期を失ふなど、現在の配給機構は不備缺陷だらけである。其の他一般の生産資材配給についても同様な事が言へるが當局はよくよく考へてくれ

- 一、農業團體を實質的に統合して一丸となつて食糧増産に當らせて貰ひたい。
- 一、現在の官吏はどうも時局認識が足りない様に思ふからこの指導をして欲しい

い

- 一、本部は全國推進大會でも大々的に開いて民族の氣勢を揚げたらどうか。
 - 一、中小小工業者は皆將棋倒れに倒れてしまふ。その結果は小數の大資本家、大企業家ばかり残つて國民の間に貧富のへだたりが大きくなる様に思ふがこの點はどうか。政府は先の事を見透して國策を樹て、貰ひたい
 - 一、中央はどうであらうと宮崎縣民は翼賛運動を盛り上らせて行く覺悟だ。縣出身の代議士等の中には翼賛會をみだりに悪く言ふ者もあるが、これ等の人は不見識も甚だしいと思ふ。
 - 一、推進員の代表と言つた様なものを協力會議員にしてはどうか。
 - 一、凡そ思想は行動に先んずる、翼賛運動を推し進めて行くにはどうしても青年が中心にならねばならない。
- それには青年學校の教育を本當の翼賛教育にすることである。

従つて施設を整へると共に教員の再練成が重要と思ふ。

一、各方面の統制を強化して行くには先づ啓蒙運動をせよ、それをしないと人心が萎靡する。

一、革新青年層を推進員として動員して貰ひたい。單に金持とか、地位のあると言ふだけで、なんにもならぬ様な人を推進員にする事に吾々は反對する。

七、鹿兒島縣民の聲

一、こんどの帝國議會では翼賛會の性格云々をされたが吾々はあんなことにこだわらずどしどしやらう。

一、中央はどうあらうと鹿兒島縣民は一致團結して翼賛運動に政治力を盛り上らせて行かねばならぬ。若しも精神運動に墮しきるやうな事があるならば日本民族のためまことに歎かましい。吾々はどこまでも結束してこの運動を支

持しよう。

一、翼賛會の理事と推進員は絶対に若い者がよいが、協力會議員は年輩者がゐることもよからう。だが會議員を選ぶ場合に從來の様な平凡な名譽慾者を選んで貰つては困る。

一、本縣でも中央で開いた長期講習の様なものを開催して支部の理事、協力會議員を練成して貰ひたいと思ふがどうか。

一、國體明徴の精神昂揚に努めると共に時局認識の徹底を計つて欲しい。

一、米價を一般の物價並にしてくれ。百姓は全く困り抜いてゐる。

一、南種子村(熊毛郡)の様な荒れ果てた田圃の復舊對策を至急樹て、貰ひたい。

一、衣服の自給對策として、當局と關係者は協力して木綿栽培を研究しようではないか。

一、食糧増産に労力と肥料の要ることは言ふまでもない。それには次の様な事を是非實行して貰ひたい。

○労力の増強

- 1 女子労力を農業動員する。これにはモンペイの實用化を圖り各町村の實情を考へた上で集團的に動員に乗出せばよい。
- 2 學生隊を農業動員する。これには縣當局の方で速く名案を作つて貰ひその指示により學校單位に協力して貰へばよい。
- 3 青壯年團よりなる増産報國挺身隊の活動を徹底する。

○肥料の増強

- 1 木灰の蒐集が必要だ。農家では木灰利用は充分に行はれてゐるが市街地の蒐集方法は仲々むづかしく、實際問題として難關であるから縣當局がよく考へて實行方法を樹てたらどうか。

2 厨芥の利用や塵芥の堆肥化も必要だ。

3 綠肥の栽培も大いによろしい。

4 草刈隊も問題である。これには學生隊が休暇、日曜を利用して肥料増産に努めて貰へばよい。

5 下水泥土の堆肥化をもつと勵行すればよい。

一、本縣下の節米運動は大分徹底してゐるやうに思ふ。

例へば七分搗の絶對勵行、雜穀類の混食、代用食の研究利用等をやつてゐるが、中種子町（熊毛郡）等では常會で申合せて毎夕食は必ず雜炊食を行つてゐる。

一、縣當局は産業技師の優遇と増置によつて食料増産をして貰ひたい。

一、甘藷の小賣をしてくれ。以前とちがつて今では甘藷が店先に出なくなつたので代用食の材料に困る。

一、町内會、村落會では興亞奉公日に對する精神運動をもつともつと強化して貰ひたい。

一、地主教育は絶対に必要だと思ふがどうか。

一、耕作地に氏名を書いた立札をして農民を個人的に指導したらどんなものか。

一、休閑地はまだ相當あるから御國のために大いに利用して貰ひたい。

一、吾々百姓は一生懸命で働くつもりだ。知識階級の人達も自肅して大いにやつて貰ひたい。

一、經濟新體制が葬り去られたのはどんな原因によるのか、國民に知らせて貰ひたいものだ。

一、一般國民にも國際情勢の真相を知らせてくれ。

八、沖繩縣民の聲

一、米麥等の主要食糧を他縣から移入しなければやつて行けない當縣に於ては食糧増産問題は緊急の急務である。

それ故縣下の各村は擧つてこの問題を解決する様に努力せねばならない。わけても、耕地擴張、肥料増産、栽培耕作法の合理化、耕種標準勵行、優良品種普及、兒童生徒の奉仕作業、畜力利用及託兒所の設置等に就いては此の際大いに考究する必要がある。と同時に政府は農民に時局の真相を知らせて心から増産にいそしむ様にして貰ひたい。

一、翼賛運動は言ふに及ばず、何事をするにも各地域、職域に於ける指導者が必要であるから指導者練成機關並に縣民訓練道場を設けて貰ひたい

一、或る町村には未だに政争が繰返されてゐる様だがこの時局下になぜそんな

事をしてゐるのか。今は分派、抗爭、對立をしてゐる時代ではない。全國民が火の玉の様に一丸となつて御國に御奉公をすべき秋だ。

一、民衆に健全なる娛樂を與へて欲しい。

一、我國の強力國家體制を確立するためには人物の養成と人材の分布の必要なる事は言ふまでもない。

本縣等はこれについては遺憾な點が多いから中等學校あたりをもつと増設して貰ひたい。

一、生活新體制は先づ時間の勵行から始めよう。

第九章 北海道の卷

一、北海道民の聲

一、我國は近年益々人口が増加して土地の狹隘を感じる様になり、内地の馬産事業は漸く衰退を見せるに至つたが、我が北海道は山野廣漠として馬産の好適地が散在してゐるから、當局は總力を擧げてこの飛躍的増産を計つたらどうか。その方策としては先づ政府が相當の獎勵施設を施す事で、關係團體が之と連絡をとつて具體的増産計畫を樹てなければならぬ。

尙防風林地帯を共同放牧地として町村に無償で使用させることが有効だと思ふ。

一、榮養資源の確保と言ふ點から畜牛の増殖改良は最近特に痛感するところである。この対策として種牡牛を國有化し種付事業を國營とする必要がある。又酪農指導員を増し、集乳所の増置を促し、牛價を安定させ其上乳價の引上げを斷行する事が必要である。

一、本道に於ける中小商工業者に對する轉失業策としては農業に誘導するが一番よい。この際未墾地の開發と言ふよりは寧ろ勞力不足に陥つてゐる耕地の利用に嚮はせるのが最も適當してゐると思ふ。

一、興亞奉公日に電力を供給して貰ひたい。

この日は増産と勤勞を目標としてゐるにもかゝらず、電力會社が毎月々々電力を停止するため電力の必要な事業場は休業しなければならぬ實狀にある。どうか電力會社の休業日を變更して貰ひたい。

一、國民の體育訓練をすることは是非とも必要であると思ふが、これには一貫

した指導精神を以つて當り、國民學校を出發點として男子は兵役の完了するまで訓練して欲しい。

この中心的指導所を翼賛會の内部に設け、指導方針を樹て、指導陣の強化を圖り、體育委員を中核としてどしどし實行して貰ひたい。

一、北海道文化を創らうではないか。それには道廳が翼賛生活法のやうなものを創つてこれまでの陋習を一掃し、郷土榮養食を決めて、これを全道民に普及し、住宅に就いては採光、保温、換氣等の點に改善を加へ、又女子子供の國民服を制定して衣服の合理化を圖り、其他娛樂、保健等の施設に至るまで出来る限り理想化して行つたらどうか。

一、一億一心の翼賛運動を實踐する一方法として一錢獻金運動をする必要がある。即ち世帯主は毎月一錢獻金することに定め、それを隣組單位で集め、更に町内會、村落會に於てまとめて、毎月十五日までに市町村長に送金すること

とにしたい。

市町村長は之を更に其の月の二十五日迄に北海道長官に送金するとよい。北海道の世帯数を六十萬戸と假定すれば一ヶ月で六千圓、一ヶ年で七萬二千圓の獻金が出来るわけだ。これはほんの假の數字だが！

一、翼賛運動は全國民の運動として發足し、其の理念は今や農山漁村の津々浦々に至るまで浸透してきた。所が中央本部のやり方は實に／＼なまぬるい。一體どうした事か、この運動の推進が出来んと言ふのか。出来ん様だつたら止める方が増した。

一、漁村開發に就いての聲を擧げると次の通りである。

- 1 漁船漁具の共同施設をし、調査、研究機關を大いに活動させる必要がある。
- 2 冷凍庫、水産共同倉庫及製造加工の共同施設を設けて欲しい。

3 當局は漁港の擴張をやつて貰ひたい。

4 海草の利用を奨励するやうにしたい。

一、産業、經濟の運営は國家活動の源泉であるから、官民一體の經濟新體制を速かに確立して貰ひたい。

結 語

以上、前編、後編を通じて轉換期日本の國民の聲を讀者諸君に聞いていたゞけたと思ふ。其してこれは全國民の要望であることも腦裏に止めて置いて頂きたい。

上述の通り、政治に、經濟に、文化に、國防に、又國民生活に其他百般の事項に亘つて新體制が熱望されてゐる。今や國民の熱と力は盛り上つたのだ。

餓えれば食を求め如く、國民は必要に迫られて斯く絶叫するのだ。國民は

民族を愛し、國家を憂ひてゐる。其の叫び聲は實に眞劍そのものである。故にこの國民的要請こそはどうしても國政に反映させなければならぬ。然し諸君よ御安心あれ！これは常會や協力會議を通じて下情は上通されてゐる。常會や協力會議の構成員は軍官民等の各代表者から成つて居て、下情上通、上意下達の兩作用をする。其れは萬民翼賛の重要機關であり、官民相互の意志交流機關である。

例へば村落常會や町内常會の決めごととは其の會員相互間に於てはよく守られ市町村常會の統裁事項は市町村政として現はれ、道、府、縣に於ける協力會議の統裁事項は、道、府、縣廳が之を採用することによつて道、府、縣政に反映する。又中央協力會議の統裁事項は官民雙方から成る運営委員會を通じて政府に上通され、其れが國政に具現すると言つた實情である。

前編に於ても一寸ふれた様に、若しも言ひつ放し、聞きつ放しの會議である

ならばこれ程無駄な會議はない、之れを有効な會議たらしめるか否かは一にかゝつて、國民全體の責任である。

今や新體制は要望されてゐる。昭和維新の今日心ある者は拱手傍觀すべきではない。すでに世界大戰は勃發した。

捲き起された世界の動亂は停止する所を知らない。現代の國際紛争は凡て實力行使を以て解決されて行く。言論政治は最早過去のものとなつた。今は須らく行動政治を行ふべき秋である。さて本書に於て全國民の要望を知り得た吾人は、此の國民的熱誠と信念を施政の上に反映さすべく翼賛運動を展開せねばならぬ。政治も軍事も外交も凡て行動を以て示すのが二十世紀の特徴である。

同胞よ團結して、民族の理想に向つて邁進しようではないか！

吾々は良く考へて良く行はねばならぬ。

斷行なき熱慮は愚人のみよくするところだ。

(終)

昭和十六年九月十四日印刷
昭和十六年九月十九日發行

定價 壹圓三拾錢
送料 九錢

著者 下村松枝

發行人 白石榮藏

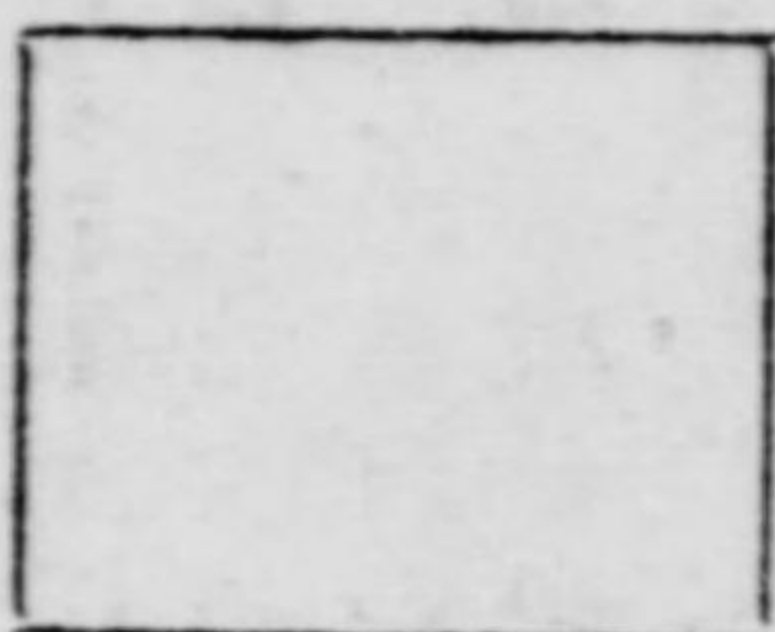
印刷所 第二川瀨印刷所
東京市神田區鎌倉町一ノ六

發行所 新民書房
東京市神田區錦町一ノ七

電話神田(25)四五三七番
振替東京一五六、一七〇番

配給元 日本出版配給株式會社
東京市神田區淡路町二ノ九

(日本出版文化協會
會員一、二、二〇九號)



東亞民族
研究會々長

松室孝良少將序

下村松枝著

B六判二五〇頁・定價一・三〇・千九

國民の聲

東亞に歐洲に未曾有の世界新秩序建設
戦が燎原の火の如く燃え擴り、臨戰體
制下の我が國に國民の翼賛運動は日に
日に熾烈に燃え盛つていく。
我々翼賛する國民はいま何を求め何
を言はんと欲してゐるか。
聽け！この國民の聲を。これは全
國各府縣協力會議を中心とし中央協力
會議にまで盛れ上つてきた各階各層の
國民の聲の完全なる反映であり翼賛の
眞摯な姿である。

内容一般

- 前篇 翼賛の華
- 後篇 國民の聲
- 第一章 東北地方
- 第二章 關東地方
- 第三章 北陸地方
- 第四章 東海地方
- 第五章 近畿地方
- 第六章 中國地方
- 第七章 四國地方
- 第八章 九州地方
- 第九章 北海道地方

中村

惠著

（全國工場産報員はみな讀め！）

B六判・二四〇頁
定價 一圓二〇錢

産業報國教書

臨戰體制下の産業界は、勞務管理の巧
拙が生産力擴充と能率増進の國策遂行
を左右する鍵となつた。こゝにおいて
各職場では産報を如何に指導し、如何
に活用していつたらよいか、重大なる
責務をもつ。

本書は産報精神に徹し、現場工員を
如何に組織し、如何に指導したらよ
いか、最も具體的に詳説したもので産報
會員必讀の教書である。

内容

- 指導篇 産業運動の生るるま
で・大政翼賛の一翼
職場の道場化・教場
としての職場・嚴肅
なる朝禮・職場人の
心がけ・教材の山・
教化訓練・懇談會
- 實際篇 若き指導者・孝悌寮
畑の中の工場・人知
れぬ戦慄・吹込み・
精神百鍊・森氏の闘
心・形を造る・舶來品
を追ふ・小袖貝・祈は
ふところに(以下略)

| |
|-----|
| 416 |
| 407 |



新

Ⓢ ¥ 1.30

版房書民新